



【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成



令和4年度
学校だより
第22号

豊かつ子

喜多方市立豊川小学校
令和5年2月6日（月）
発行責任者
校長 佐々木 豊

◎（心も体も）つよい子 ◎（自然と友達に）やさしい子 ◎（真剣に）まなぶ子

伝統を引き継ぐために～新鼓笛隊 全体練習スタート～

2学期後半から新鼓笛隊に向けて、分担する楽器の希望をとり、パート練習を行ってきました。パート練習は昼休みの時間を使い、6年生が下級生に手取り足取り教えてくれました。

先日、全体練習を体育館で行いました。フロアでは新鼓笛隊の3・4・5年生が演奏を行い、6年生はステージ上で聴きました。演奏後、6年生がパートごとに1人ずつアドバイスをしてくれました。「前よりもとても上手になりました」「指揮者をしっかり見ましょう」など、6年生の助言と励ましの言葉を、3・4・5年生は真剣に聞いていました。

この光景を見て「こうして伝統が引き継がれていくのだなあ」と改めて思いました。6年生のみなさん、最後までやさしく面倒を見てください。3・4・5年生のみなさん、しっかり豊川小の伝統を引き継いでください。



豊かつ子は読書好き～ぜひ、家でも読書の声かけを！～

豊川小学校では毎朝「読書」の時間があります。みんな夢中になって読書をするので、学校全体がシーンと静かになります。毎週水曜日には、図書ボランティアの方が来て読み聞かせをしてくださいます。どのクラスも目を輝かせて聞いています。テストやプリントが早く終わったときには、机の中から本を出して静かに読書をする子の姿も見られます。

こんなに読書好きの子ども達ですが、家ではあまり読書をしていないと聞いていました。しかし、図書館だより（2月3日）の「**冬休み家読感想カード紹介**」の記事を読み、冬休み中に家読に取り組まれたご家庭が多いことを知り、大変うれしく思いました。子ども達が家でも読書に取り組めるかどうかは、保護者の方の働きかけが大きいと感じています。ぜひこれからもお子様に読書の声かけをお願いします。



静かに本を読む朝の読書



みんな「読み聞かせ」に夢中

喜多方市の中学校の統廃合について、意見交換会がありました

1月30日（月）午後7時から喜多方プラザで、喜多方一中学区の中学校のPTA役員と学校運営協議会委員（コミュニティ・スクール委員）を対象に、中学校の統廃合についての意見交換会が行われました。

会では、まず市教育委員会の担当者から中学校の統合の方向性について説明がありました。期間は令和5年度から令和14年度の10年間の予定で、児童生徒数の減少の状況、学校施設の老朽化、地域の実情、財政状況等を勘案して進めるそうです。豊川小学校は現在「現状維持」の方向で話が進んでいます。

学校名	方向性
第二小学校 慶徳小学校	統合に向け調整・準備
豊川小学校	現状維持（児童数の状況に応じて統合を検討する）

説明の後に行われた意見交換では、

- ・ 統合により地域のまとまりがバラバラになるのではないかという不安
- ・ 「4km・60分までは徒步通学」という徒步通学範囲への不安
- ・ 話し合うための具体例をもっと示してほしいという要望（具体的な通学方法など）
- ・ 豊川小が「状況に応じ」後から統合した場合への不安（再度新たな学校※1を作り直すのか、そうでないなら新たな学校を作る段階で豊川小もまざった方がよいのでは？）
- ・ 統合の頃に在籍すると思われる小さい子の保護者の意見も聞くべきという要望
- ・ 大きな期限を決めて進めてほしいという要望（例：令和8年度には統合するなど）

などが出されました。

「最終的にどのようにになったときに決定するのか」も話題となりましたが、最終決定は「審議会」※2で決めるそうです。ただし、強引に進めることなく、意見交換会やアンケートなどを今後も実施し、保護者や地域住民とさらに話し合いを行うそうです。

※1 統合は原則として対等な関係の統合とし、既存の学校に吸収統合という形ではなく「新たな学校を設立する」という考え方方に立つものとする。両校とも廃校にして新しい校名等も検討する。

※2 審議会は市教育委員会のHPに議事録や資料が載っています。興味のある方はご覧ください。

ちょっといい話

先日雪が降った日のことです。登校中に昇降口で転びそうになる子が何人もいました。昇降口の床に子ども達の長靴から雪が落ち、とても滑りやすくなっていたからです。



手指消毒を呼びかけていた柳沼先生とスクールサポートスタッフの戸田さんが、昇降口で一人一人に「床が滑るから気をつけて！」と、声をかけていました。

その様子を見ていた6年のF君が、床に落とされた雪をほうきではいてくれました。人が通って長靴から雪が落ちるたびに、何度も何度も掃いてくれました。

「さすが6年生だなあ」と感心しました。F君、みんなのためにありがとう。

